

移植苗木生育追跡調査結果について

平成5年度、平成13～15年度に苔探勝路および正木峠、ビジターセンター裏、上道水場付近に移植したトウヒ等の苗木について、高さ、根本径、高さ1.3m以上のものについては胸高直径を調査した。

植栽箇所は図1に示すとおりである。

移植したトウヒ等の苗木の生存数を表1に、平均樹高の変化、平均根本径の変化、生存率の推移を図2～4に示した。

調査結果の概要は以下のとおりである。

- トウヒ苗木の平均樹高を見ると、正木峠に移植したものが最も高く（H23 平均樹高 119.8～172.9cm）、次いで上道水場付近（H23 平均樹高 96.5cm）、ビジターセンター裏（H23 平均樹高 92.4cm）、苔探勝路（H23 平均樹高 40.9cm）となった。
- トウヒ苗木の成長は、明るい場所ほど良く、暗い場所である苔探勝路に移植した苗木はほとんど成長していなかった。
- ビジターセンター裏と上道水場付近はどちらも平成15年度に植栽した箇所であるが、植栽当初の平均樹高はビジターセンター裏の方が約15cm高かったが、徐々に平均樹高の差が縮まり、今年度は上道水場付近の苗木の方が平均樹高が高くなった。
- 苔探勝路に移植したトウヒ苗木はほとんど成長していない。
- トウヒ苗木の生存率は、平成13、15年度に正木峠に移植したものが非常に高く、苔探勝路に移植したものはかなり低かった。平成20年度以降、ビジターセンター裏、苔探勝路において枯死する個体が目立った。枯死の要因は不明である。
- 上道水場付近に移植したトウヒ苗木については、平成19年度に生存個体の約23%（11/48）にノウサギによると思われる食痕が見られたが、枯死に至った個体は1個体のみであった。平成21年度以降はノウサギによる食痕は見られなかった。

表1 移植苗木の生存数

移植場所	移植年度	移植時本数	生存数									
			平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	23年
正木峠	平成5年	46	46	46	46	41	41	41	39	38	37	37
	平成13年	40	-	40	40	40	40	39	39	39	39	39
	平成14年	100	-	100	100	96	94	92	82	82	79	79
	平成15年	120	-	-	120	120	120	119	118	118	118	118
苔探勝路	平成5年	25	25	25	25	24	23	21	20	20	18	14
ビジターセンター裏	平成15年	不明	-	-	-	20	20	20	20	20	19	17
上道水場上	平成15年	62	-	-	62	60	55	52	49	49	47	46

※正木峠および苔探勝路 H5 移植分の移植時本数については、移植時モニタリング実施本数を示す。

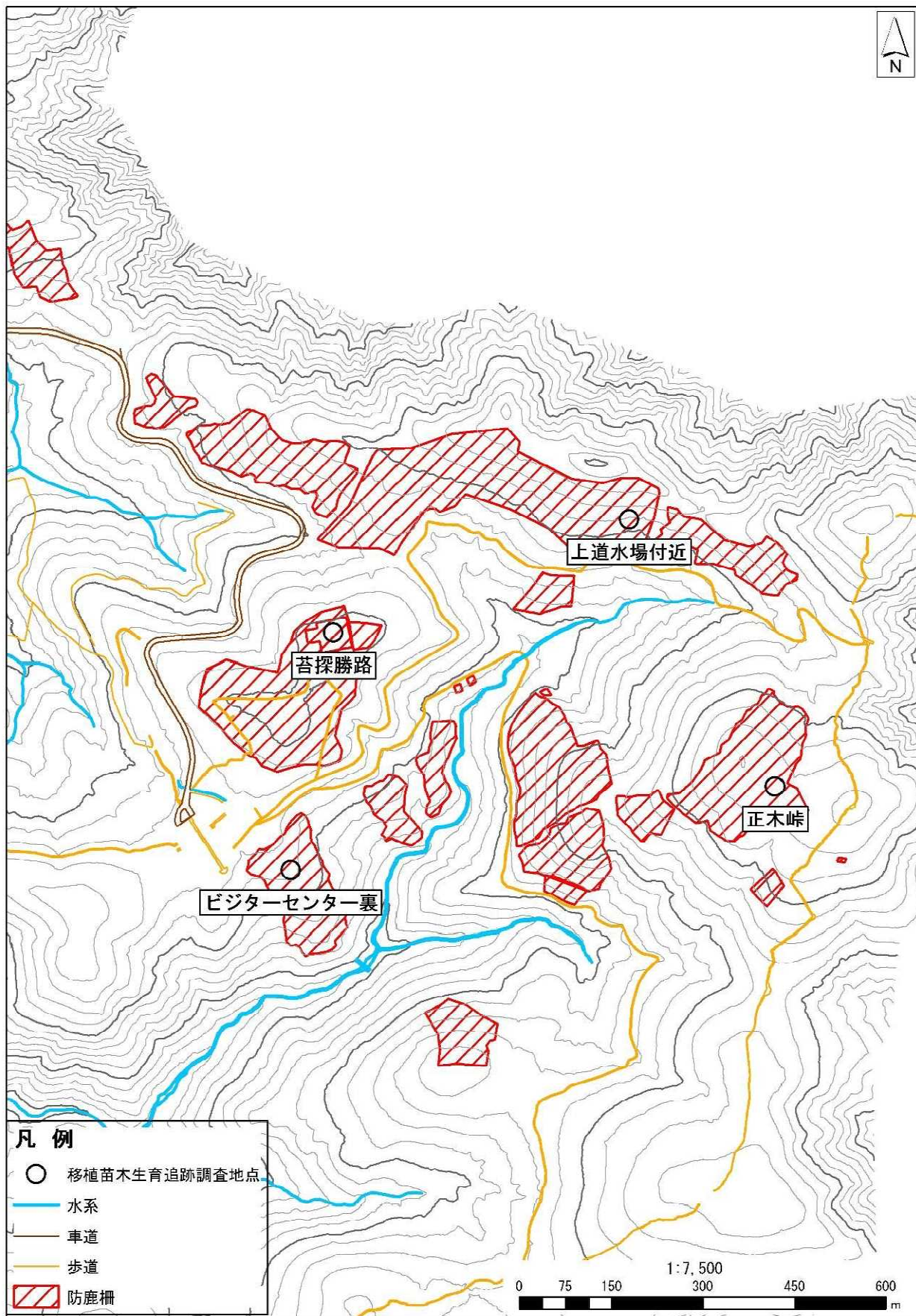


図1 移植苗木生育追跡調査地点

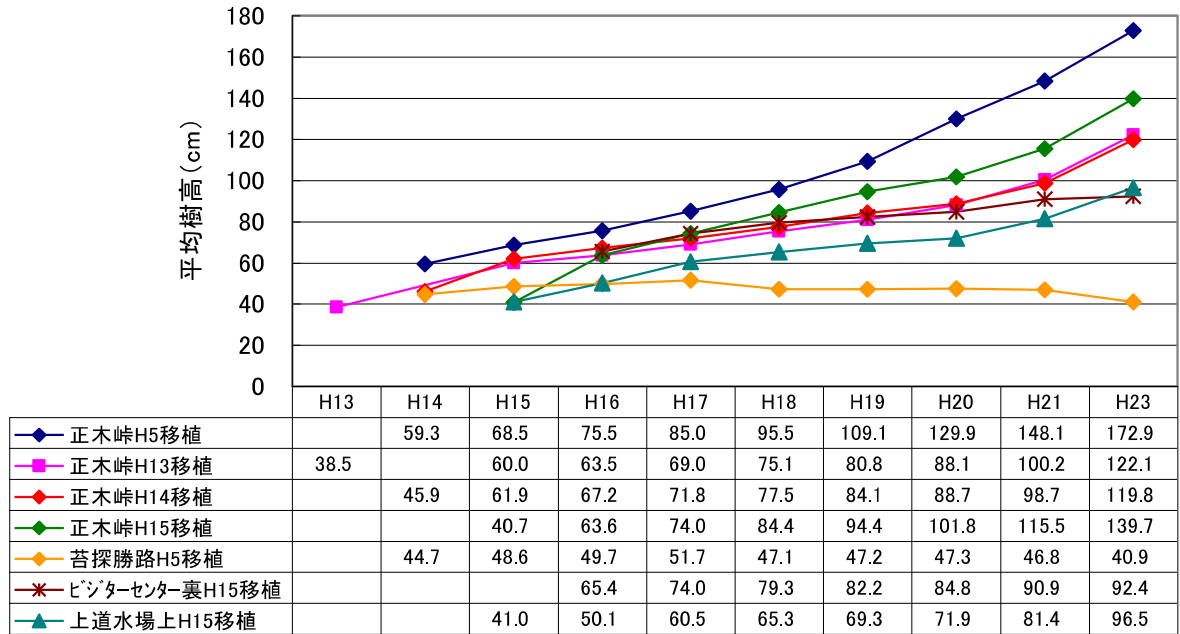


図2 トウヒ移植苗木の平均樹高の変化

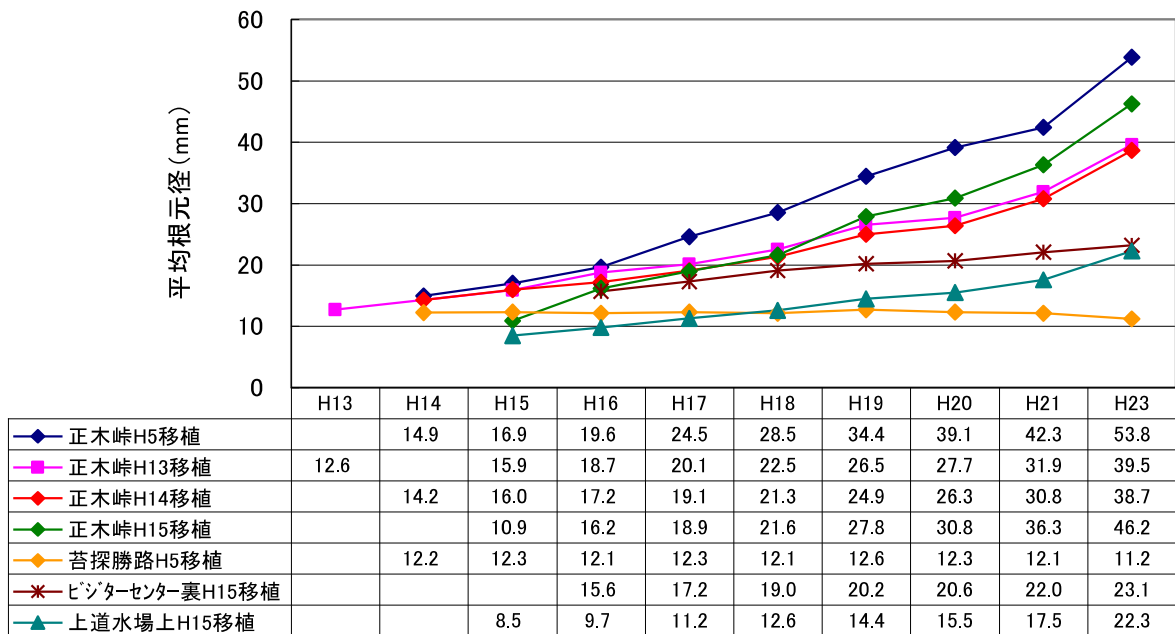


図3 トウヒ移植苗木の平均根本径の変化

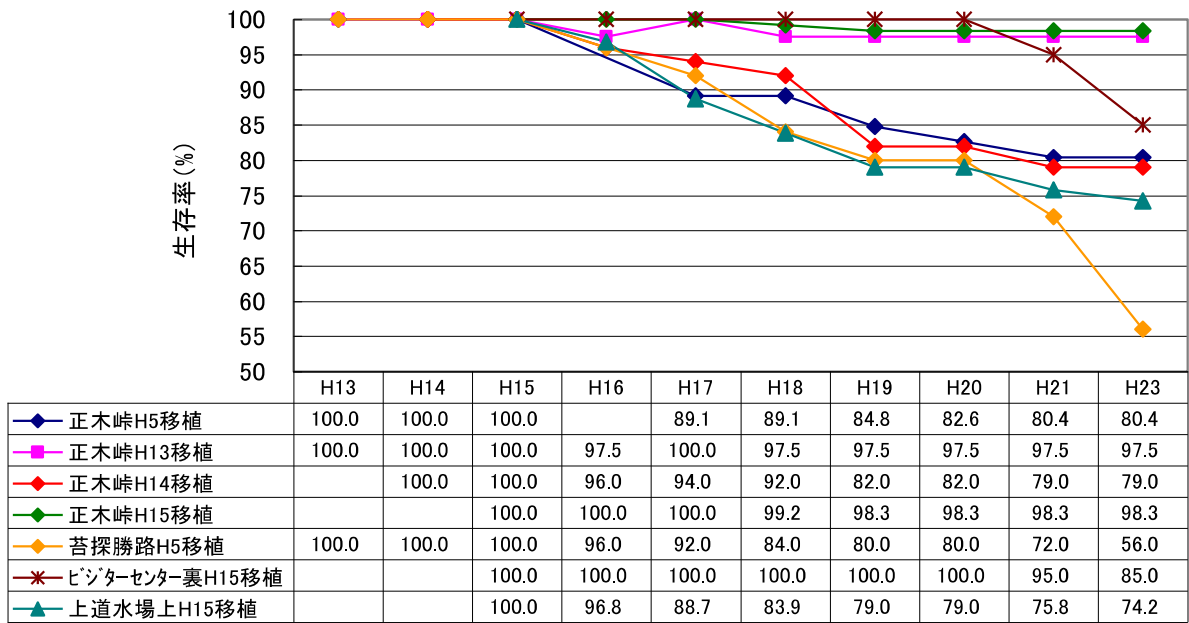


図4 トウヒ移植苗木の生存率の推移